

■懇談会後のご意見

	内容	担当課	回答
1	<p>【乗馬散歩コースの提案について】</p> <p>現在、鴨川の主な観光施設は、①誕生寺・清澄、②鴨川シーワールド、③大山千枚田であると思います。そこでプラスワンとして、嶺岡林道を利用した乗馬散歩コースを思い付きではありますが、考えてみました。林道からは富士山、三浦半島、伊豆大島の見える地点が多くあります。</p> <p>歴史的に見れば、源頼朝公関連の話、里見家城跡、徳川家(キーポイント)日本酪農発祥の地、乳製品を上様(吉宗公)に献上した事実、水田先生記念館(先人の偉業)等アピールすること など、多くあると思います。</p> <p>農家・酪農家・乗馬産業に関わっている者等が動いてくれればと思っています。</p> <p>乗馬は上質なレジャーとスポーツであり、若い女性の憧れのレジャーです。農家・酪農を営んでいる若者の交流の場として、嫁不足解消にも良いのではと考えています。</p>	<p>商工観光課 生涯学習課</p>	<p>ご提案として承りました。</p>
2	<p>【高齢者の交通手段について】</p> <p>私は、田原地区住民です。長くボランティアを続けております。その中で、高齢者の買い物や通院や公民館のサークルなどの移動の手段が無くどうにかできないかと話しを多く聞きます。高齢により自動車免許証返納して不便です。また、高齢で自動車免許証を返納したいのですが移動ができなくなるので、何かできないかなど話しが多く聞かれます。これから後期高齢者が多くなるのつれ、家の中にこもる方が多くなることが予想されます。後期高齢者が健康で毎日を過ごせますよう、お願いいたします。(人と会うこと・話しをすること・出かけること皆さん好きだし)</p>	<p>まちづくり推進課</p>	<p>公共交通は、高齢化の進行等によりその重要性は年々増している一方で、人口減少や自家用車の普及等により、利用者数の減少傾向が続く、その維持は全国的に地域の大きな課題となっています。本市においても、地域に欠かせない生活交通である民間路線バスは、赤字額の拡大により、市の財政負担なしでは路線を維持できない状況となっており、また、市が運行しているコミュニティバスについても、その運営が非常に厳しい状況となっております。</p> <p>将来にわたり持続可能かつ有効な公共交通網を形成し、公共交通サービスの維持確保を図るべく、現在、民間路線バスとコミュニティバスの一体的な路線再編や運行方法等の見直し、新たな公共交通システムの導入の検討などを行っておりますので、ご理解、ご協力いただきますようよろしくお願いいたします。</p>

	内容	担当課	回答
3	<p>【防災対策について】</p> <p>昨年、この場所で津波対策として防潮堤のかさ上げについて、県への働きかけをお願いしました。前市長は、県の情報を収集するとの回答でした。県は津波対策をどのように考えておられるのでしょうか？</p> <p>鴨川市は小湊から江見まで広範囲で海岸に面しています。今後30年間に70～80%の確率で巨大地震が発生して大津波が押し寄せると言われています。</p> <p>10月7日、22時41分に千葉西部を震源とするマグニチュード5.9の地震が発生しました。鴨川は震度4でした。私は地震が発生すると、まず第1に震源地は？津波は？テレビ等で確認します。震源地が陸地と分かると”ひと安心”します。</p> <p>10年前の東日本大震災の時は、鴨川も10m以上の津波が予想されました。実際、潮が大分引いたようで、高台に避難したようです。私は千葉市内の通信会社に勤めていて災害対策室に入り数日間帰宅できませんでした。電話は通じず、家族と連絡が取れなくて、家はもうだめかと諦めていました。ぜひ、生命・財産を守り、安心・安全に暮らせるよう、津波対策をお願いいたします。</p>	都市建設課	<p>「海岸の津波対策(防潮堤のかさ上げ)」について、お答えさせていただきます。海岸(漁港区域を除く海岸保全指定区域)の管理につきましては県の安房土木事務所鴨川出張所が行っており、千葉県では地域の意見等を反映した「千葉東沿岸海岸保全基本計画」を策定し、これに基づいて海岸保全施設の整備等のもとより、海岸環境の保全や海岸利用に配慮した海岸保全を推進していくこととしており、市内では高潮・高波被害が発生した鴨川シーワールド付近の東条海岸や天津地区の二夕間海岸の整備を、また太海地区では、鴨川青年の家の下の方波海岸に消波ブロックを設置する事業を計画的に進めているところです。</p> <p>今後も特に被害が発生した箇所を優先的に、また地元から要望のあった箇所について計画的に整備を進めてもらうよう、市として要望してまいりたいと考えておりますので、今後ともご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。</p>
4	<p>①城西国際大学の件について、新しく建てる様な事はしないで、ある物を利用する様にしてください。例えば公民館活動の教室に利用。中央公民館で音楽を習いたいと思っても駐車場が狭くて利用できません。</p> <p>②市内に眼科が少なすぎます。国保病院に週2回、亀田1カ月待ち。三橋さんの跡地を利用した方が良いと思います。</p> <p>③移住者を増加させるには、交通が便利なことです。交通の便利な所は人口がますます増加しています。鴨川は他地域に比べ取り残されています。よろしく願いいたします。</p>	経営企画課	ご意見として承りました。

	内容	担当課	回答
5	<p>【鴨川市の魅力を増す町づくり…森林保全と活用について】</p> <p>森林を破壊して建設されるメガソーラーの問題の根底には、大きく公益性を有する森林の管理を、多くは私有地であることから個人に委ねられてきていて、昨今個人の管理が立ち行かなくなり、森林の荒廃を招いている現状にあると思います。相続しようにも憚れて「山はいらないお荷物だ」という地主さんの声も聞かれます。</p> <p>鴨川は山・川・棚田・海すべてがお宝だと思います。</p> <p>「森は海の恋人」と宮城県のとらふりさんが山に植林をしたという話も聞いています。</p> <p>森林を伐採して、大きく土地の改変を伴う開発は阻止し、何億年と培われてきた自然と共生していくこと、そして後世に引き継いでいくことだと思います。</p> <p>森林環境譲与税が導入されています。受け身の消極的な活用でなく、積極的な活用をして鴨川の自然と共生した魅力的な町づくりにつなげていければと考えます。</p> <p>活用に関して</p> <ul style="list-style-type: none"> ・森林整備そのものの在り方について一整備の仕方によっては森林を荒廃させる ・3割の人口比による分配方式により、森林の少ない人口の多い県北の市に多く配分されていて、南房総地域のように森林が多く人口の少ない市町には分配額が少ない問題 ・活用事例より…自治体間連携による森林整備(東京都豊島区×埼玉県秩父市)を取り入れる(例えば千葉市と連携する)等々 <p>市民参加の会議体を作って、勉強会や調査等を行い、専門家・市民・行政マンの知恵を集結して形にしていくことを提案していただきます。</p>	農林水産課 環境課	ご意見・ご提案として承りました。
6	<p>【長谷川市長へのお願い】</p> <p>私共の町内に市長さんがかつて県教育委員会の同僚であった方が87歳で今もお元気にされています。長年教育現場で活躍された方ですから、「さとうみ学校」について、いろいろなお考えをお持ちだと思います。ご多用のことと存じますが、ぜひ、1度お立ち寄りいただき、1分でも2分でも結構ですから生の話を聞いていただき、市政に反映していただきたく、よろしく願いいたします。</p>	経営企画課	ご意見として承りました。市長に伝えさせていただきます。

	内容	担当課	回答
7	<p>【前原海岸のウォールアートについて】 特定のショップが推すアーティストを起用することについて疑問があります。そのショップには、そのアーティストの作品を販売しており、公共の場所に施すことは公平性を大きく欠いているのではないのでしょうか。それを引率する市議の判断は正しいものなのでしょうか。</p>	<p>商工観光課</p>	<p>当該事業は、防波堤や海岸周辺にウォールペイントアートを制作し鴨川市の新たな観光スポットをつくり、コロナ感染症の収束後は、アート作品をメインにイベント等を開催し鴨川市への誘客促進を推進することを目的とした、鴨川市観光協会を中心とした実行委員会が実施したものです。 実行委員会事務局に伺ったところ、アーティストについては、実行委員会において検討がなされており、全国的に活躍しているアーティストの中から鴨川の海にふさわしいデザインを作成できると判断した方を選定したもので、特定のショップのPRを目的とするものではないと伺っております。 詳細については、当該事業実行委員会事務局(鴨川市観光協会04-7092-0086)へお問い合わせください。</p>